



2022年9月9日

各位

会社名 株式会社ハイレックスコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 寺浦 太郎
 (コード番号 7279 東証スタンダード市場)
 問合せ先 経理グループ担当執行役員 芦田 安功
 (TEL 0797-85-2500)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、最近の業績動向を踏まえ、2022年6月3日に公表しました通期(2021年11月1日～2022年10月31日)業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年10月期の通期連結業績予想数値の修正 (2021年11月1日～2022年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	248,400	1,700	2,800	700	18.67
今回修正予想 (B)	245,800	△2,500	△1,100	△2,700	△72.01
増減額 (B - A)	△2,600	△4,200	△3,900	△3,400	-
増減率 (%)	△1.0	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2021年10月期)	217,754	685	3,032	4,896	129.08

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間(2021年11月1日～2022年7月31日)の売上高は、急激な円安による邦貨換算額の増加影響があったものの、主に半導体供給不足による各国自動車メーカーの減産が想定を超過して増加・継続したこと、欧州で予定していた新規受注案件の量産立ち上げが遅れたこと等の影響から、想定した水準を下回って推移しました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、資源・素材の高騰に伴う材料コストの上昇、半導体供給不足による調達コストの急増、世界的な輸送コストの高止まりが当社の想定を大きく上回って継続したこと、主に米国を中心とした雇用逼迫の影響と顧客の休業・減産対応に伴う生産効率低下の影響等により、直近で公表した業績見込みを大きく下回って推移し、損失計上となりました。

通期(2021年11月1日～2022年10月31日)の連結業績予想は、上記の第3四半期累計期間実績を元に、最新の販売予想と想定為替レートの見直しを行った結果、予想連結売上高は前回発表予想比で減少となる見込みです。利益面におきましては、欧州での新規量産立ち上げに伴う利益改善が見

込まれる一方で、第3四半期累計期間の実績並びに第4四半期における半導体供給不足による顧客の減産影響及び高止まりした材料・運送コストの推移を勘案した結果、コスト削減に取り組むものの第3四半期累計期間での損失を挽回するに及ばず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想比で大幅に減少し、それぞれ損失計上となる見込みです。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上